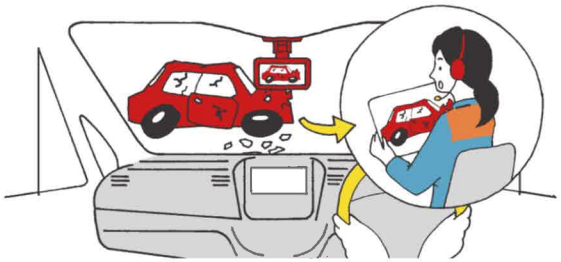
わたしの、
だれかの、
もしものために。

豊田市では令和7年に人身事故939件、火災165件が発生しています。命に関わる災害現場の状況をいち早く確認して、迅速な消防活動に繋げるため、豊田市とトヨタ自動車はドライブレコーダー映像を活用する実証実験を始めます。みんなで命を救えるまちの実現をクルマのまち豊田市から全国に広めていくため、ご協力をよろしくお願いします。

「DRIVE RECORDER 119」とは



現場の状況把握が難しいときに、119番通報を受けるオペレーターが付近を走るクルマのドライブレコーダー映像を確認できるシステムです。迅速で適切な消火、救急、救助活動に役立てます。

取り組みの詳細動画

DRIVE RECORDER119のホームページ

実証実験協力の依頼

皆様の自家用車に搭載されているドライブレコーダーをトヨタ自動車の「DRIVE RECORDER 119」と連携をさせてください。

※DRIVE RECORDER119の概要は見開きページをご確認ください。

豊田市での実証実験概要

期間 26年5月～27年3月

対象 該当するトヨタ・レクサス車ユーザー（QRコードにて自身の車両が対象かどうか確認してください。）

内容 豊田市消防本部への119番通報の内、『現場状況の把握が難しく、映像が必要』と指令員が判断した際に現場付近を走行する対象車両のドライブレコーダー映像を確認し、迅速で適切な消火、救急、救助活動に役立てます。

協力手順は、右記QRコードで、ご確認ください。

該当する車両にて協力いただける方には、Amazonギフトカード2,000円プレゼント

ドライブレコーダー映像をトヨタ自動車が常時取得しているわけでは無く、消防のオペレーターが『映像が必要』と判断した際に、該当事案の位置付近、かつ、該当する時間にたまたま走行していた場合にのみ、約15秒間の映像を取得させていただきます。

上記に当てはまらない場合は、実証期間中、一度も映像取得されない車両も存在します。交通事故現場などの付近を、偶然に走行していた場合にのみ映像を取得させていただきます。
なお、映像取得時にドライバー側での作業などは一切発生しません。

消防本部へ提供する映像などに関して、
個人を特定する情報は提供いたしません。

本実証実験に関する車外画像データの取り扱いについては
右記のDRIVE RECORDER119のホームページをご確認ください。

DRIVE RECORDER 119

ドライブレコーダーを消防救急活動に役立てる実証実験

協力者にはもれなく
Amazonギフトカード
2,000円プレゼント!

豊田市 Toyota City

TOYOTA

DRIVE RECORDER 119 の仕組み

『交通事故死傷者ゼロ』に向けて、
日々、安全なクルマの開発に取り組んでいます。

01 災害場所を特定する

119番の通報内容から、消防指令センターのオペレーターが交通事故などの発生場所を特定する

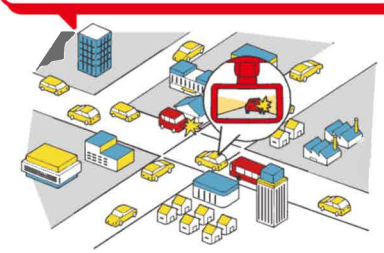
02 映像の必要性を判断する

口頭の通報内容で災害地点の特定や的確な事故の把握ができるか、映像が必要か判断する

03 システムで災害場所を探す

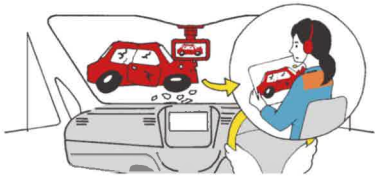
映像が必要と判断したら、DRIVE RECORDER 119で災害地点を設定する

04 映像を見る車両を選ぶ



GPS情報をもとに、付近を走るドライブレコーダー装着車両を選ぶ（事前に同意を得た車両のみ）

05 映像を取得する



対象車両のドライブレコーダー映像を取得する

06 映像を消防活動につなげる

消防指令センターで、ドライブレコーダー映像を確認し、迅速で適切な対応につなげる

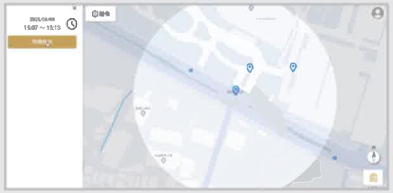
豊田市消防本部 指令員の声

「視覚的な情報で救える命がある」

119番通報の中には、音声通話だけでは現場状況の把握が難しい事例もあり、1分1秒を争う消防・救急の活動では、いち早く正確な情報を得られることが重要です。
ドライブレコーダー映像で視覚的な情報が得られれば、災害状況に適した消防隊を迅速に出動させることができます。
映像提供への協力車両が増えることで、火災や事故現場の映像をとらえる確率も高まります。

豊田市消防本部が活用する「DRIVE RECORDER 119」の画面イメージ

- デフォルト画面は豊田市のMAP
- 119番通報を受信し消防指令センターのオペレーターが『現場状況がよくわからない』と判断した場合



- 対象事案の地点を指定すると、該当時間内に半径100m内にいた車両を検索

- 該当のドライブレコーダー映像が約15秒間再生される

※映像はプライバシーに配慮した処置を実施

奏功事例

—

医療行為の15分前倒し

通報内容では「交通事故で被害者は意識なし」という情報だけだったが、映像を通じて、道路上で動かない被害者を確認でき、ドクターカーを即座に要請。医師が現場に来て、医療行為を15分早めた。傷病者は救命センターに搬送後、症状が安定。一般病院へ転院搬送。治療を行った救命センターの医師は「ドクターカーの早期出場で救急救命士が現場で実施できない医療行為につながり、傷病者の予後に大きく影響した」と評価。